

# 静岡県 剣道道場連盟

◆加盟団体数 45  
◆会長 飯塚才司 範士八段  
◆事務局 〒427-0024  
静岡県島田市横井3-4-1  
TEL&FAX 054-736-2724

「県剣連との協力体制を確立し、一体となった幼少年指導体制の構築を目標として掲げている。指導者に正しい日本刀の操法を基盤とした指導をするよう呼びかけ、また、子どもたちには多くの仲間との交流が必要なことから、活発な錬成会への参加を呼びかけている」(飯塚会長)

## 道場ファイル 33

### ぶしゅうかん 武修館

静岡県剣道道場連盟 登録番号 2

◆館主 美和靖之 教士七段 ◆館長 美和しのぶ 錬士七段  
◆設立年 永禄年間  
◆所在地 〒411-0024 静岡県三島市若松町438  
◆連絡先 美和靖之 TEL&FAX 055-987-0759  
E-mail busyuukan1@yahoo.co.jp

#### ◆稽古日・時間

月・木・土 18時～21時 30分 ゆりが丘道場  
水 18時～20時 30分  
日 8時30分～10時 本部道場  
火 19時～20時30分 スポーツ少年団

※三島市ホームページに「がんばれ三島の子どもたち「武修館」映像UP。

#### 屋外での稽古



足利時代、永禄年間に設立された約450年という歴史ある剣道場。先の第二次世界大戦の戦災にて道場を焼失した。戦後の武道禁止が解かれてから20年近く経ち、静岡県東部に私設道場がなくなったことを憂いて、昭和45年2月1日、念願の道場再建を果たした。以来、少年から大人まで、剣道を通して自分自身を鍛え育てる目標をもち、また切磋琢磨する場として地域の道場という大きな役割を果たしてきた。

日本伝統文化としての剣道を学び、日本人として心技体の健全発達を目指すためにも、稽古内容は切り返しと掛かり稽古を柱に組み立てながら、自主自立、自発行

動を尊び、個性を伸ばすことに目標を置いて実践してきた。現在、稽古場は3箇所となるが、日々鍛錬を怠らない。道場訓は「苦しい時にこそ 頑張りよう」、自分を知り、自分を育てる自助努力のできる「全国に通じる子」をモットーとしている。

大会については、全剣連主催、全道連主催の全国少年大会の他、水戸全国選抜少年大会にも出場している。さらに県下大会だけでなく、県外大会への参加も積極的に行っており、試合を通して得られる子どもたちの大きな成長を大切に見守っている。奉仕活動も実践し、地域にとって、なくてはならない道場を目指している。

#### 本年の県道場連盟大会で優勝



#### 道場外観



## 道場ファイル 34

昭和44年、東海パルプ(株)(現・特種東海製紙(株)島田工場)の体育館が建設された際に、社員の子弟と近隣の子どもたちの心身の健全育成を目的に「東武会」として創設。以前より実業団で活動していた東海パルプ(株)剣道部であったが、東武会創立を機に少年剣道教室を前面に出すようにし、子ども中心の稽古へと移った。その伝統は今も引き継がれており、主役は子どもたちであって、稽古は基本と掛かり稽古を中心とする内容となっている。

毎回、初心者も一緒にできる「正面・左右面を打たせる切り返し」、体力気力増強のための「連続30本の切り返し」

なども組み合わせて稽古を行なっている。子どもたちの親や一般の入門もあり、親子剣士の誕生では「家庭でも話題を共有できて良い」との声も多く聞く。また近隣の道場やスポーツ少年団とも交流を深めている。

将来、大人になった時にも「剣道をやって良かった」と思えるような指導を目指し、次の3項目をモットーとしている。

1. 剣道を通じ礼儀作法を重んじ、挨拶がしっかり出来る子供の育成。
2. 厳しい稽古を通じ精神力・忍耐力の強い人に育てる。
3. 年上、師、親を敬い、優しい心を育て、友達をたくさん作る。

### とうぶかい 東武会

静岡県剣道道場連盟 登録番号34

◆代表 廣住英二  
◆設立年 1969年  
◆所在地 静岡県島田市 島田第二中学校武道場(火・木)  
静岡県島田市 島田樟誠高等学校武道場(土)  
◆連絡先 廣住英二 〒428-0005  
静岡県島田市横岡新田75-2  
TEL&FAX 0547-46-3741

#### ◆稽古日・時間

火・木・土 18時～20時(時季により、18時30分～)

#### 稽古風景



#### 道場生一同

